OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

| | |
|---|---|
| Title | 就任のごあいさつ |
| Author(s) | 辻野, 守典 |
| Citation | makoto. 1983, 43, p. 8-8 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://doi.org/10.18910/86054 |
| rights | |
| Note | |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

# 就任のごあいさつ

財団法人 大阪防疫協会
理事長 辻野守典

このたび、前理事長辻野直三郎の辞意表明により、理事会決議をもって理事長に就任し、その責を果たすことになりました。

当協会は公衆衛生混乱期であった昭和二十二年五月に創立され、その後幾多の困難に遭いながら、関係当局のご指導、各位のご支援によりまして、今日迄健全な歩みを続けてまいり、今年五月で満三十六年を迎えることが出来ましたことに、深い感謝の念を覚えるところであります。

さてこの間、経済のめざましい成長とともに、社会をとりまく生活環境も大きく変ってまいりました。各種伝染病は、関係当局の適切な処置と国民の理解により減少してまいりましたが、他方では問題の対応をせまられている数多くのことがあります。

近年都市におきましては、地下街の発達は鼠族にとって絶好の棲息場所となり、豊富な食糧とあいまって繁殖の好条件をもたらすことになり、薬剤の抵抗性の問題とからんで、その防除対策をむつかしくしているおり、今春の日本衛生動物学会でとりあげられた腎症候性出血熱の問題は、鼠族対策に一石を投じたものと考えられます。

最近の住宅構造は機密性が向上してまいりましたが、通気性は悪くなり、夏冬をとわず高くなった温湿度は、真菌に好都合な条件を与え、さらにダニなどの発生にともなっていろいろな問題をひきおこしています。

真菌はいろいろなものに生えるとも言われていますが、真菌によって汚染された食品は、品質の単なる劣化にとどまらず、その真菌がどんな真菌であるか、もしアフラトキシンを産生するような、*Aspergillus flavus* であったとしたら、品質の劣化にとどまる問題ではないことになりましょう。

真菌はプラスチックなどにも生えるといわれています。プラスチックの使用範囲は広く、思わないところで、プラスチックに生えた真菌によって被害を受けていることはないだろうかと心配されますし、真菌の問題は医学の分野においても大変やっかいな問題でもありましょう。*Legionella pneumophila* によって起こったいわゆる在郷軍人病は、都市の近代化によって作り出された人工環境の管理のあり方について、問題を提起していると考えられます。

当協会は公衆衛生、環境衛生をよくみつめ、健康で文化的な「住みよい街づくり」のため、はばの広い時代のニーズに応えられるよう研鑽をつみ、まことの精神をもって今後とも微力を尽くす覚悟ですので、よろしくご指導ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。